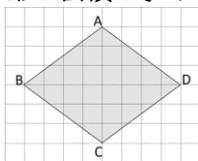
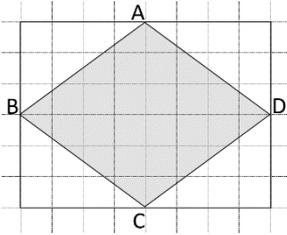


学習者用デジタル教科書で 実際に図形を操作して追究する

小学校 第5学年 算数 「四角形と三角形の面積」

- (1) ねらい ひし形の面積の求め方を考える活動を通して、ひし形の面積は既習の図形をもとにすると求められることに気づき、ひし形の求積公式を使って面積を求めることができる。
- (2) 評価規準 ひし形を求積できる図形に変形するなど、面積の求め方を既習事項をもとにして、筋道立てて考えている。
- (3) 学習展開 (10/12)

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）
導入	<p>1 問題を把握する。</p> <p>下のひし形の面積を求めましょう。</p> 	<p>・初めて見た図形の面積を求める時はどのように考えたかを振り返り、児童が数学的な見方・考え方を働かせることができるようにする。</p>
展開	<p>課題 ひし形の面積の求め方を考えよう。</p> <p>2 見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの図形と同じように形を変えて、求められる形に変形すれば計算することができると思う。 ・今は、正方形、長方形、三角形などの面積を求めることができるよ。 <p>3 面積の求め方を考える。(個人追究)</p> <p>○学習者用デジタル教科書を使用して面積の求め方を考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひし形に2本の対角線を引いて、4つの三角形に分けます。その三角形を複製すると、長方形になるので… ・ひし形に2本の対角線を引いて、4つの三角形に分けます。その三角形を移動させると長方形になるので… ・ひし形は、2つの三角形が合わさってできた形とみることができるので…  <p>○この求め方では、ひし形のどこの長さを使っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの対角線の長さを使っています。 ・ひし形の面積は2つの対角線をかけて、2でわると求めることができるんだな。 <p>まとめ ひし形の面積＝対角線×対角線÷2</p>	
終末	<p>4 練習問題に取り組む。</p> <p>○NEW! GIFU ウェブラーニングに取り組みましょう。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を活用することで、図形を切ったり、複製したりしやすくなり、図形が変形しやすくなる。 ・デジタル教科書を活用することで何度でも試すことができるようにする。 ・変形の過程をスクリーンショットで残すことで、スライドショーのように自分の意見を整理することができるようにする。 <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の求め方の説明を、ロイロノートスクールの提出箱に提出することで多くの児童の考え方に触れることができるようにする。 <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価問題としてNEW! GIFU ウェブラーニングの問題を取り扱うことで、リアルタイムで児童の状況を把握することができる。